

大学院生の皆さんへ

大学院研究科長 みょうじん 明神 さとる 知

イノベーションを生み出す学問の接点に身を置いて、自分の可能性に挑戦しましょう

1989年に開学した本学建学の理念は「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を掲げており、1996年に開設した本学大学院は、まさにこの新しい学問の創造を担う場です。

あらゆるものを繋ぐ ICT は学問の接点にイノベーションの種を次々に生み出しています。さらに、DXを取り巻く社会と技術の変化は目まぐるしいものがあります。

例えば ChatGPT を生み出した大規模言語モデルは、人工知能の力を私たちの日常生活にも活用することができるようにしました。このような変化を受けて、私たちは教育と研究の手法を再考する必要があります。

研究の目的やゴールについては、これまで実現可能なゴール設定を行ってきましたが、これからは実現不可能であったゴールでも達成可能となってきました。したがって研究のゴール設定には新たな発想で取り組んでいただきたい。

商品やサービスの開発でも、顧客の心理や潜在意識に届くデザイン思考が実践されてきましたが、最近では、さらに自分の哲学でその先を目指すアート思考によって、独自の発想が求められています。

幸いにして本学にはユニークな研究で著名な教員が揃っています。食の臨床試験、地域イノベーション、宇宙と地球環境の観測、人工衛星とドローンの観測データによるスマート農業、先端芸術表現、メタバース、eスポーツ、医用画像のAI診断、社会技術アーキテクチャ、コミュニティヘルス、スポーツバイオメカニクスなど芸術・医療・スポーツ・宇宙・経営・教育と情報の接点の研究が目白押しです。指導教員とよく相談して、どのようなテーマに取り組むか、新たな発想で本質的な課題に取り組んでください。

皆さんは今、前途に広がる洋々たる可能性の場に身を置いています。皆さんの研究テーマの取組みの中に、新しい社会的な価値を見出して行きましょう。それが皆さんの将来を切り開く強みとなり自信となり、その後の成長の糧となるはずです。

ユニークな学問の創造に取り組む本学で皆さんの可能性を磨きあげましょう。